

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	情報リテラシー (0905)
科目基礎情報					
科目番号	1M34		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科機械・医工学コース		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	「インターネット社会を生きるための情報倫理」(情報教育学研究会, 実教出版), 「情報倫理ビデオ小品集」(大学ICT推進協議会)				
担当教員	佐藤 健				
目的・到達目標					
1. 電子メールやBlackboardなどの基本ツールを活用することができる 2. インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている 3. 情報の活用(収集・分析): インターネット上や書籍などから必要な情報を収集し, グラフや統計などの手法で適切に分析することができる 4. 情報の活用(判断・発信): 分析した情報を適切に判断し, 自らまとめた成果をプレゼンテーションやレポートを通して発信することができる					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
ツールの活用	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを学習やコミュニケーションに活用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを最低限利用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを利用することができない		
情報倫理	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている、実践することができる	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できていない		
情報の活用	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解しており、実践することができる	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解している	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解していない		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP2 ◎					
教育方法等					
概要	【授業の目標】 インターネットの普及により, たくさんの情報を入手できるようになりました。その中から的確な「情報」を見極め活用する能力が問われています。本科目ではコンピュータやインターネットを基本的な道具として活用できる以下4つの能力を身につけることを目標とします。「情報を収集する能力」「情報を分析する能力」「情報を判断する能力」「情報を発信する能力」 【開講学期】春学期週2時間				
授業の進め方と授業内容・方法	情報社会に必要なマナーやルール(情報倫理)を理解すること, 電子メールやオフィスソフトなどの基本的な使い方を身につけること, プレゼンテーションにより分析結果を表現する力を身につけることを教材や演習を通して学びます。 . 到達度試験70%、自学自習シート・課題など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として60点以上を合格とします。答えは採点後返却し達成度を伝達します。 総合評価で60点未満の場合は補充試験を行います。補充試験の結果が70点以上を合格とし、総合評価を最大60点とします。				
注意点	「パソコン教室」ではありません。アプリケーションの基本的な使い方は参考図書などを活用して各自で習得すること。教えられたことよりも自ら学んだことが身につきます。講義中にこなせなかった課題や予習・復習は端末室やOffice365を活用して積極的にを行うこと。自学自習シートによる予習・復習を必須とし毎時間必ず提出すること。自学自習はシートの内容で評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, システムの操作説明 演習: パスワードの設定, ブラウザの使い方		
		2週	電子メールの使い方(1) 演習: 電子メールを使ってみよう		
		3週	電子メールの使い方(2) 演習: グラフの作成 「1年の中の特別な日 ~家計調査から~」		
		4週	「情報と社会」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(1) 情報の収集		
		5週	「個人情報と知的財産」「ネットにおけるコミュニケーションとマナー」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(2) 情報の分析		
		6週	「情報社会における生活」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(3) プレゼンテーションの作成		
		7週	「情報セキュリティとネット被害」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(4) みんなで発表会		
		8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)		
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	到達度試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	情報リテラシー (0905)
科目基礎情報					
科目番号	1E34		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	「インターネット社会を生きるための情報倫理」(情報教育学研究会, 実教出版), 「情報倫理ビデオ小品集」(大学ICT推進協議会)				
担当教員	佐藤 健				
目的・到達目標					
1. 電子メールやBlackboardなどの基本ツールを活用することができる 2. インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている 3. 情報の活用(収集・分析): インターネット上や書籍などから必要な情報を収集し, グラフや統計などの手法で適切に分析することができる 4. 情報の活用(判断・発信): 分析した情報を適切に判断し, 自らまとめた成果をプレゼンテーションやレポートを通して発信することができる					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
ツールの活用	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを学習やコミュニケーションに活用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを最低限利用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを利用することができない		
情報倫理	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている、実践することができる	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できていない		
情報の活用	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解しており、実践することができる	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解している	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解していない		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP2 ◎					
教育方法等					
概要	【授業の目標】 インターネットの普及により, たくさんの情報を入手できるようになりました。その中から的確な「情報」を見極め活用する能力が問われています。本科目ではコンピュータやインターネットを基本的な道具として活用できる以下4つの能力を身につけることを目標とします。「情報を収集する能力」「情報を分析する能力」「情報を判断する能力」「情報を発信する能力」 【開講学期】春学期週2時間				
授業の進め方と授業内容・方法	情報社会に必要なマナーやルール(情報倫理)を理解すること, 電子メールやオフィスソフトなどの基本的な使い方を身につけること, プレゼンテーションにより分析結果を表現する力を身につけることを教材や演習を通して学びます。 . 到達度試験70%、自学自習シート・課題など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として60点以上を合格とします。答えは採点後返却し達成度を伝達します。 総合評価で60点未満の場合は補充試験を行います。補充試験の結果が70点以上を合格とし、総合評価を最大60点とします。				
注意点	「パソコン教室」ではありません。アプリケーションの基本的な使い方は参考図書などを活用して各自で習得すること。教えられたことよりも自ら学んだことが身につきます。講義中にこなせなかった課題や予習・復習は端末室やOffice365を活用して積極的にを行うこと。自学自習シートによる予習・復習を必須とし毎時間必ず提出すること。自学自習はシートの内容で評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, システムの操作説明 演習: パスワードの設定, ブラウザの使い方		
		2週	電子メールの使い方(1) 演習: 電子メールを使ってみよう		
		3週	電子メールの使い方(2) 演習: グラフの作成 「1年の中の特別な日 ~家計調査から~」		
		4週	「情報と社会」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(1) 情報の収集		
		5週	「個人情報と知的財産」「ネットにおけるコミュニケーションとマナー」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(2) 情報の分析		
		6週	「情報社会における生活」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(3) プレゼンテーションの作成		
		7週	「情報セキュリティとネット被害」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(4) みんなで発表会		
		8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)		
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	到達度試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	情報リテラシー (0905)
科目基礎情報					
科目番号	1C34		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	「インターネット社会を生きるための情報倫理」(情報教育学研究会, 実教出版), 「情報倫理ビデオ小品集」(大学ICT推進協議会)				
担当教員	佐藤 健				
目的・到達目標					
1. 電子メールやBlackboardなどの基本ツールを活用することができる 2. インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている 3. 情報の活用(収集・分析): インターネット上や書籍などから必要な情報を収集し, グラフや統計などの手法で適切に分析することができる 4. 情報の活用(判断・発信): 分析した情報を適切に判断し, 自らまとめた成果をプレゼンテーションやレポートを通して発信することができる					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
ツールの活用	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを学習やコミュニケーションに活用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを最低限利用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを利用することができない		
情報倫理	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている、実践することができる	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できていない		
情報の活用	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解しており、実践することができる	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解している	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解していない		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP2 ◎					
教育方法等					
概要	【授業の目標】 インターネットの普及により, たくさんの情報を入手できるようになりました。その中から的確な「情報」を見極め活用する能力が問われています。本科目ではコンピュータやインターネットを基本的な道具として活用できる以下4つの能力を身につけることを目標とします。「情報を収集する能力」「情報を分析する能力」「情報を判断する能力」「情報を発信する能力」 【開講学期】春学期週2時間				
授業の進め方と授業内容・方法	情報社会に必要なマナーやルール(情報倫理)を理解すること, 電子メールやオフィスソフトなどの基本的な使い方を身につけること, プレゼンテーションにより分析結果を表現する力を身につけることを教材や演習を通して学びます。 . 到達度試験70%、自学自習シート・課題など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として60点以上を合格とします。答えは採点後返却し達成度を伝達します。 総合評価で60点未満の場合は補充試験を行います。補充試験の結果が70点以上を合格とし、総合評価を最大60点とします。				
注意点	「パソコン教室」ではありません。アプリケーションの基本的な使い方は参考図書などを活用して各自で習得すること。教えられたことよりも自ら学んだことが身につきます。講義中にこなせなかった課題や予習・復習は端末室やOffice365を活用して積極的にを行うこと。自学自習シートによる予習・復習を必須とし毎時間必ず提出すること。自学自習はシートの内容で評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, システムの操作説明 演習: パスワードの設定, ブラウザの使い方		
		2週	電子メールの使い方(1) 演習: 電子メールを使ってみよう		
		3週	電子メールの使い方(2) 演習: グラフの作成 「1年の中の特別な日 ~家計調査から~」		
		4週	「情報と社会」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(1) 情報の収集		
		5週	「個人情報と知的財産」「ネットにおけるコミュニケーションとマナー」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(2) 情報の分析		
		6週	「情報社会における生活」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(3) プレゼンテーションの作成		
		7週	「情報セキュリティとネット被害」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(4) みんなで発表会		
		8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)		
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	到達度試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	情報リテラシー (0905)
科目基礎情報					
科目番号	1Z34		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	1	
教科書/教材	「インターネット社会を生きるための情報倫理」(情報教育学研究会, 実教出版), 「情報倫理ビデオ小品集」(大学ICT推進協議会)				
担当教員	佐藤 健				
目的・到達目標					
1. 電子メールやBlackboardなどの基本ツールを活用することができる 2. インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている 3. 情報の活用(収集・分析): インターネット上や書籍などから必要な情報を収集し、グラフや統計などの手法で適切に分析することができる 4. 情報の活用(判断・発信): 分析した情報を適切に判断し、自らまとめた成果をプレゼンテーションやレポートを通して発信することができる					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
ツールの活用	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを学習やコミュニケーションに活用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを最低限利用することができる	電子メールやBlackboardなどの基本ツールを利用することができない		
情報倫理	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている、実践することができる	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できている	インターネットを利用する上でのルールやマナーを理解できていない		
情報の活用	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解しており、実践することができる	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解している	情報の収集・分析・判断・発信の手法を理解していない		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 ○ ディプロマポリシー DP2 ◎					
教育方法等					
概要	【授業の目標】 インターネットの普及により、たくさんの情報を入手できるようになりました。その中から的確な「情報」を見極め活用する能力が問われています。本科目ではコンピュータやインターネットを基本的な道具として活用できる以下4つの能力を身につけることを目標とします。「情報を収集する能力」「情報を分析する能力」「情報を判断する能力」「情報を発信する能力」 【開講学期】春学期週2時間				
授業の進め方と授業内容・方法	情報社会に必要なマナーやルール(情報倫理)を理解すること、電子メールやオフィスソフトなどの基本的な使い方を身につけること、プレゼンテーションにより分析結果を表現する力を身につけることを教材や演習を通して学びます。 到達度試験70%、自学自習シート・課題など30%として評価を行い、総合評価は100点満点として60点以上を合格とします。答えは採点後返却し達成度を伝達します。 総合評価で60点未満の場合は補充試験を行います。補充試験の結果が70点以上を合格とし、総合評価を最大60点とします。				
注意点	「パソコン教室」ではありません。アプリケーションの基本的な使い方は参考図書などを活用して各自で習得すること。教えられたことよりも自ら学んだことが身につきます。講義中にこなせなかった課題や予習・復習は端末室やOffice365を活用して積極的にを行うこと。自学自習シートによる予習・復習を必須とし毎時間必ず提出すること。自学自習はシートの内容で評価する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, システムの操作説明 演習: パスワードの設定, ブラウザの使い方		
		2週	電子メールの使い方(1) 演習: 電子メールを使ってみよう		
		3週	電子メールの使い方(2) 演習: グラフの作成 「1年の中の特別な日 ~家計調査から~」		
		4週	「情報と社会」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(1) 情報の収集		
		5週	「個人情報と知的財産」「ネットにおけるコミュニケーションとマナー」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(2) 情報の分析		
		6週	「情報社会における生活」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(3) プレゼンテーションの作成		
		7週	「情報セキュリティとネット被害」 演習: お気に入りのページを紹介しよう(4) みんなで発表会		
		8週	到達度試験 (答案返却とまとめ)		
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	到達度試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0